

# 常なる磐

つねなる いわ

令和2年12月11日(金)

## ◇ 全校集会にて【ウサギとカメ】

師走12月の全校集会(朝会)。 児童への話は、「【ウサギとカメ】」について。

12月です。 2020年の最後の月です。 最後は「しめくくり」が大事です。今年1年間でたくさんのことを学びました。 だから今が、今年で一番力があります。学校での生活も、家での生活も、これまでで一番頑張れる時です。自分の、学級の、家での「あたりまえ」を意識して生活し、いいしめくくりをなささい。

今日は、童話「ウサギとカメ(イソップ童話)」の話です。 一度は聞いたことがありますね。ウサギとカメで山のふもとまで競争をする。足の速いウサギは、足の遅いカメを見て余裕で勝てると思い、途中で居眠りをする。その間にカメは着実に進み、ウサギが目を覚ました時には、カメが先にゴールをしていた、という話です。

この話は、「いくら力があっても、油断をしてはいけない」ということ。 それから、「あきらめないうで頑張れば、最後には結果が得られる」ということを教えてくれています。

「ウサギとカメ」の話は、もう一つ、大事なことを教えてくれます。

競争の途中でウサギが途中で休憩する前、ウサギは後ろを振り返り、どんどん離れていくカメを見ている。それに対してカメは、ゴールを目指しています。カメが見ているのは前。

カメはひたすら「ゴール」を見ていたのに対し、ウサギは「カメ」を見ているんです。だから、カメはウサギの横を通り過ぎる時も、ウサギを見ていないと思います。「今のうちに先に行かないと、またウサギに抜かれてしまう」なんてことも考えていないでしょう。「ゴール」だけを見て頑張ったのがカメ。 競争相手のカメを見ていたのがウサギ。「目標」だけを見て頑張ったのがカメ。 「目標」がかすんでしまったのがウサギ。ウサギとカメは、「目標の見方」が違うのです。

ゴールした後のカメはどうだったのでしょうか。ウサギに競争で勝って、大喜びしていたのなら、これは間違いです。 あわてて、そして遅れてゴールにたどり着いたウサギに拍手を送っていたのなら最高です。

何かをするとき、何かを頑張るとき、大事なものは「目標」をもち、もてる力、備えた力を尽くすことです。 「あたりまえ」のことを「あたりまえ」に、最後まで行うことです。

12月は、1年で一番力があります。「目標」をしっかりもち、その力を「目標」に向かって力の限り発揮し、2020年をしめくくりなさい。

【相手】を視野に入れず、【目標】のみを見据える。 己への戒めでもある。

余談ではあるが、イソップさんに話ができたのなら、一つ注文がある。 競争のゴールが下方の「ふもと」ではなく、見上げた「頂上」だったら、さらによかったのでは…ないかい。

【おまけ】滋賀県豊郷小学校 旧校舎の【ウサギとカメの階段】 ※とあるブログより転載

①スタート



②居眠りするウサギ



③坂道を登るカメ ※ほら、こっちがいい



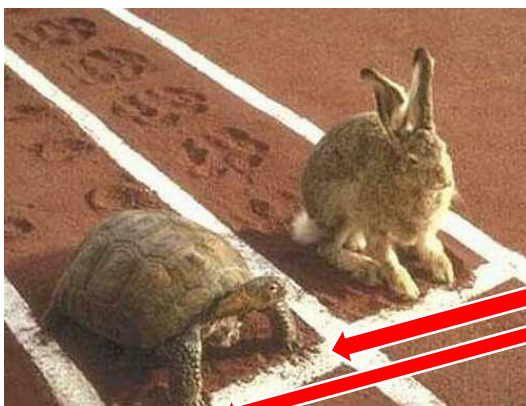
④居眠りするウサギを見下ろすゴール後のカメ



なかなかセンスのある学校だ。

現在は、【豊郷町立図書館】とのこと。

【おまけ その2】 ※とあるブログより転載



スタートの写真かと思いきや、  
両者の後方には、足跡。

ほんのちょっと先に、カメがゴールしている。